

長野県森林づくり県民税の今後の活用見通し

長野県森林づくり県民税残高の状況

令和6年度は税込等の歳入（当初予算ベース）が701,682千円に対し、森林税活用事業のうち人工造林・初期保育の嵩上げ、広く県民が利用する施設等の木造木質化等で当初の予定を下回る事業執行となったため、執行額分について基金から繰り出す歳出は660,717千円となり、令和6年度の森林税残高※は、前年度末の318,598千円から359,563千円となりました。

※翌年度への繰越についても、当年度予算の歳出に含めて計上しています

(千円)

歳入・歳出区分		第3期末	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	計
税込額	個人		563,453	576,755	572,403			
	法人		127,012	124,918	127,125			
基金運用益等			6	9	523			
税込、運用益	A	① 118,080	690,471	② 701,682	700,051			
前年度森林税残高	B		118,080	318,598	359,563			
執行可能額 C = A+B			808,551	1,020,280	1,059,614			
活用額	当年度予算		483,980	654,307	817,751			
	翌年度へ繰越		5,974	6,410	0			
歳出 計	D		489,954	660,717	817,751			
森林税残高 C - D		121,580	318,598	359,563	241,863			

①：第3期末の森林税残高 118,080 千円を、便宜上歳入として記載

②：R6年度の歳入は見込み金額

長野県森林づくり県民税残高の推移見通し

森林づくり県民税基金残高のうち、令和6年度に実施できなかった事業分については、各事業目標の達成に向け、令和7年度予算では、対象事業の拡充・要件の見直し等により事業の加速化を図ります。

また、地域での課題や社会情勢の変化に伴う課題等の解決に向けた森林づくりを進めるため、今後も必要に応じて制度見直しを行い、森林づくり県民税の活用を進めてまいります。

